

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
フェロニッケルスラグ混入アスファルト混合物	アスファルト混合物用フェロニッケルスラグ骨材	フェロニッケルを製錬する際に副生する溶融スラグを冷却し、破碎、粒度調整し、アスファルト混合物及び瀝青安定処理に使用する骨材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。	天然材料を用いた通常の加熱アスファルト混合物	継続検討 EQS (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりますが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「フェロニッケルスラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
フェロニッケルスラグ混入路盤材	フェロニッケルスラグ路盤材	フェロニッケルを製錬する際に副生するフェロニッケルスラグ等を素材として破碎して、単体または混合して製造した路盤材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。	天然碎石・砕砂	継続検討 EQS (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりますが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「フェロニッケルスラグ混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
高炉セメントを使用したコンクリート積みブロック	高炉セメントを使用したコンクリート積みブロック（プレキャスト無筋コンクリート製品）	コンクリート積みブロックは、天然石材の代替品として昭和30年代中頃から普及し、現在においても道路擁壁・河川護岸・宅地擁壁などで大変多く使用されている。一般的に普及しているコンクリート積みブロックの多くが普通ポルトランドセメントを用い製造されているが、当該資材は、特定調達品目でもある高炉セメントB種を用い製造をおこなっているため環境負荷低減を実現できると共に、使用頻度が多いため環境負荷低減効果も高いといえる。	普通ポルトランドセメントを用いたコンクリート積みブロック	継続検討 EQS (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりますが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「高炉セメントを用いたコンクリート積みブロック」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・今後、高炉スラグの需要と供給のバランスが崩れる可能性もあり、高炉スラグのリサイクルフローを精査する必要がある 品質確保について不確実性が残ると考えられる。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ・製品の安定的生産・供給体制の確認が不十分 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
再生骨材Mを用いたコンクリート製品	再生粗骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品	再生骨材Mは乾燥収縮や凍結融解作用の影響からその使用は、地下構造物のみに限られている。これらの課題を解決するために、再生粗骨材Mをプレキャストコンクリート(PCa)製品へ利用したものである。PCa製品に利用した場合、部材寸法が小さく、乾燥収縮による不具合が発生しにくいこと、また、凍結融解抵抗性についても土木研究所により耐凍害性の有無を容易に判断できるようになった。主な特徴は以下のとおりである。なお、本品は(社)日本コンクリート工学協会「再生粗骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品のガイドライン試案」をベースとして作製されている。 コストをかけずに既存の機器で再生粗骨材Mを製造し、品質を確保する。 粗骨材の30～100%を再生粗骨材Mで置換し、アルカリシリカ反応の対策として混合セメントを利用する。 設計基準強度35N/mm ² 以下の製品を対象とする。	天然骨材を用いたコンクリート製品	継続検討 S(C)	本品目については、統合品目「再生骨材Mを用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ・JISを満足する製品の安定的生産・供給体制が不十分 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
天然繊維を用いたドレーン材	天然繊維を用いたドレーン材	軟弱地盤の圧密沈下促進工法である鉛直ドレーン工法において、軟弱地盤中に鉛直に打設し、軟弱地盤中の水分の排水を促進するドレーン材に天然繊維製（黄麻の織物やヤシの木の殻の外皮繊維を燃ったヤシロープ）の材料を用いるものである。また水平排水ドレーン材料として、近年ではサンドマット（地上水平排水砂材）の代替品として水平天然繊維ドレーンが使用されている。	プラスチック（化学繊維）ドレーン	継続検討 E(C)	本品目については、統合品目「天然繊維を用いたドレーン材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・製造段階でのCO ₂ 削減が期待されるが、削減量の見通しが不明確。 ・最終的に腐食し土と同化することの効果不明確。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
生分解性プラスチックを用いたドレーン材	生分解性プラスチックボードドレーン材	植物を原料とした生分解性プラスチックにより、圧密終了後に生分解し無害化する地盤改良工用のドレーン材である。本品目は、芯材・フィルターともに天然のでんぷん（飼料用とうもろこしでんぷん）や糖類などの植物を原料として作られたポリ乳酸樹脂であり、施工後は土中の微生物のはたらきによって水と二酸化炭素に生分解され無害化し、圧密沈下完了後には自然に還る素材である。 ドレーン材としての要求性能である施工性、透水性および引張強度などはこれまでの化学繊維系のもので全く変わらず、その製造過程においての二酸化炭素発生量も少なく、環境に配慮した資材である。	（化学繊維系）プラスチックボードドレーン材	継続検討 EQ (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「生分解性プラスチックを用いたドレーン材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・製造段階でのCO ₂ 削減が期待されるが、削減量の見通しが不明確。 ・最終的に腐食し土と同化することの効果不明確。 品質確保について不確実性が残ると考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
ペーパースラッジを用いた土質改良材	FTマッドキラー	製紙工場から排出されるPS灰を再焼成、混合、造粒、粒度調整、乾燥等の処理を施すことで製造した泥土改良材を用いて、軟弱な建設発生土（泥土）を瞬時に改良し、建設工事への転用を可能とする工法である。本工法の特徴は、以下のとおり。 1)吸水効果を主体とする改良である。 2)養生時間なしに、瞬時に泥土を改良させ、改良土を建設工事に転用できる。 3)粘性土、砂質土、腐植土等すべての土質に対応可能である。 4)改良土は、中性域であり、周辺の生態系（動、植物）にやさしい改良である。 5)改良土は、繰り返し利用できる。 6)第4種の改良状態（qc=200KN/m ² ）からそれ以上の強度を発揮させる場合、少ない追添加で達成することができる。 7)改良に際しては専用攪拌装置があるがバックホー攪拌でも対応できる（セメント系固化と比較して攪拌ムラが少ない）。 H15年度国土交通省テーマ設定技術募集システム「浚渫土砂のリサイクル技術」で選定 H18年度地盤工学会 地盤環境賞受賞（資料No.14）。	セメント系固化材、石灰系固化材、高分子改良剤	継続検討EQ(C)	本品目については、統合品目「ペーパースラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・再リサイクル性の確認が必要 ・全国のペーパースラッジ灰の性質が多岐に渡るため、ペーパースラッジ灰全般において使用段階における有害物質が長期的に溶出しないことの確認が必要。 JIS・JAS等の公的基準がないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
	カタツムリ工法	池、湖沼、河川建築現場から排出される泥土、軟弱土、残土の有効利用をめざし、また世界的リサイクルプランのなかでの建設残土、浚渫汚泥の有効利用することにより、埋め立て最終処分場の寿命をのばせることができます。またこの工法に使用する材料（ペーパースラッジ灰、石炭灰、廃石膏、高炉スラグ微粉末等が主成分）そのものがリサイクル製品であります。		継続検討EQ(C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「ペーパースラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・再リサイクル性の確認が必要 ・全国のペーパースラッジ灰の性質が多岐に渡るため、ペーパースラッジ灰全般において使用段階における有害物質が長期的に溶出しないことの確認が必要。 JIS・JAS等の公的基準がないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
地盤改良用フェロニッケルスラグ	フェロニッケルを用いたサンドドレイン材	フェロニッケルを製錬する際に副生する熔融スラグを冷却し、破碎、粒度調整し、サンドドレイン工法に使用する骨材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。	天然砂（山砂、海砂）、砕砂	継続検討ES(C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「地盤改良用フェロニッケルスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO ₂ 排出の検討が不十分のため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
	フェロニッケルを用いたサンドコンパクション材	フェロニッケルを製錬する際に副生する溶融スラグを冷却し、破碎、粒度調整し、サンドコンパクションに使用する骨材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。		継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「地盤改良用フェロニッケルスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
地盤改良用銅スラグ	銅スラグを用いたサンドドレイン材	銅スラグは、銅を製錬する際に副生する溶融スラグを水砕したサンドドレイン材である。海砂・山砂、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。	天然骨材を用いた地盤改良材	継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「地盤改良用銅スラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・銅スラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
	銅スラグを用いたサンドコンパクション材	銅スラグは、銅を製錬する際に副生する溶融スラグを水砕したサンドコンパクション材である。海砂・山砂、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。		継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「地盤改良用銅スラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・銅スラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
亜鉛スラグを用いたケーソン中詰め材	亜鉛スラグ ケーソン中詰め材	亜鉛を生産する際に、鉱石中の鉄分、シリカ分などから、副産物として発生する亜鉛スラグを用いたケーソン中詰め材。海砂・山砂・砕砂などの普通砂の代替品として使用される。	天然砂(海・山砂)	継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「亜鉛スラグを用いたケーソン中詰め材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・亜鉛スラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
フェロニッケルスラグを用いた土工材料	フェロニッケルスラグ盛土材	フェロニッケルを製錬する際に副生するフェロニッケルスラグ等を素材として破碎して、単体または混合して製造した、盛土材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。	天然砂(海・山砂)	継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「フェロニッケルスラグを用いた土工材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
	フェロニッケルスラグ覆土材	フェロニッケルを製錬する際に副生するフェロニッケルスラグ等を素材として破碎して、単体または混合して製造した、覆土材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。		継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「フェロニッケルスラグを用いた土工材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
	フェロニッケルスラグ埋立材	フェロニッケルを製錬する際に副生するフェロニッケルスラグ等を素材として破碎して、単体または混合して製造した、埋立材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。		継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「フェロニッケルスラグを用いた土工材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
	フェロニッケルスラグ路床材	フェロニッケルを製錬する際に副生するフェロニッケルスラグ等を素材として破碎して、単体または混合して製造した路床材。海砂・山砂、砂利、碎石、砕砂などの普通骨材の代替品として使用される。		継続検討 E S (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりませんが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「フェロニッケルスラグを用いた土工材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグ運搬に伴うCO2排出の検討が不十分なため、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
有害物質を含有しない路面補修用常温合材	オレンジパッチ（VOCゼロ全天候型常温合材）	路面補修に使用する常温合材で、従来は石油系の有機溶剤が使用されているが、オレンジパッチは植物系の溶剤を使用しているため、人体及び環境に優しい全天候型常温合材です	全天候型常温合材	継続検討 E Q C	本品目については、統合品目「有害物質を含有しない路面補修用常温合材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 比較対象品と比べてコストが高いと考えられる。 ・施工費、ライフサイクルコストについて不明確

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
畳	エコ畳「再生材料を使用した稲わら畳及び稲わらサンドイッチ畳」	「建設リサイクル法」に則り、廃棄物（古畳）を抑制するために、使用済みの古畳を回収し、解体・分別及び加熱処理し再資源化した稲わら畳と、稲わらと環境負荷の少ない発泡プラスチック保温板を組み合わせた畳。エコマーク認定品。施工コストを考慮し、直敷きタイプが可能な「エコたたみ形」を追加。	国土交通省建築工事共通仕様書に定める「畳」。	継続検討 EQS (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりますが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「畳（たたみ）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・提案品目自体の再リサイクル性の確認が必要 JIS・JAS等の公的基準に準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 古畳の回収体制が不明確なため、安定して供給が可能か、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
再生プラスチックを利用した建材	再生プラスチック（PP）製デッキ材	廃プラスチックのうち、主にPP（ポリプロピレン）・PE（ポリエチレン）を主材料として再生したデッキ材。廃プラスチックを破碎しブレンド・計量の上熱溶融し押出成型したものの。屋外のデッキ材等で使用。除却の際にもリサイクルが可能な循環型商品。	樹脂製（プラスチック）デッキ材	継続検討 QS (C)	本品目については、統合品目「再生プラスチックを利用した建材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 JIS・JAS等の公的基準に準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 提案品目を製造できるメーカー等の存在が不明なため、全国的に普及が可能か不確実性が残ると考えられる。また、使用の場が限定されるため、国等の調達見込み量について継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生骨材Lを用いたコンクリート	コンクリート用再生骨材L	コンクリート用再生骨材Lは、コンクリート構造物を解体したコンクリート塊を破碎などの処理を行い製造したものである。コンクリート塊にはレディーミクストコンクリートの戻りコンを硬化させた塊を破碎して造ったものも含む。但し、フレッシュ時に水を加えたもの、運搬車から排出後1～3日で砂利状に砕いたものは除く。	コンクリート	継続検討 S(C)	本品目については、統合品目「再生骨材Lを用いたコンクリート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ・JISを満足する材料の安定的生産・供給体制が不十分 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生骨材Mを用いたコンクリート	再生骨材コンクリート	解体コンクリートを原材料とする再生骨材を用いた「再生粗骨材コンクリートまたは再生細・粗骨材コンクリート」を市中の生コン工場で製造・供給し、一般建設工事の場所打ち杭および基礎等の地下躯体、CFT造の鋼管充填コンクリートに適用する。なお、本材料に用いる再生骨材は中品質（Mクラス）のもので、吸水率4%ないし5%以下を管理許容値としている。また、当該コンクリートは、杭および地下躯体については首都圏の4工場につき、鋼管充填コンクリートについては首都圏の1工場につき建築基準法37条第2項に基づいた国土交通大臣認定の一般認定を取得している。また、既に認定を取得した生コン工場と、再生骨材製造工場を変更した国土交通大臣認定（6/27時点性能評価終了）を取得予定である。	天然骨材を用いたコンクリート	継続検討 S(C)	本品目については、統合品目「再生骨材Mを用いたコンクリート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
	コンクリート用再生骨材M	コンクリート用再生骨材は、コンクリート構造物を解体したコンクリート塊(原コンクリート)を破碎、磨砕、分級などの処理を行い製造したものである。コンクリート塊にはレディーミクストコンクリートの戻りコンを硬化させた塊を破碎して造ったものも含む。但し、フレッシュ時に水を加えたもの、運搬車から排出後1～3日で砂利状に砕いたものは除く。		継続検討 S(C)	本品目については、統合品目「再生骨材Mを用いたコンクリート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。
コンクリート用再生骨材H	コンクリート用再生骨材H	コンクリート用再生骨材Hは、コンクリート構造物の解体などによって発生したコンクリート塊(原コンクリート)に対し、破碎・磨砕・分級等の高度な処理を行って製造したコンクリート用再生骨材。コンクリート塊には、構造物の解体によって発生したもの以外に、コンクリート製品やレディーミクストコンクリートの戻りコンクリートを硬化させたものなどがある。	天然骨材	継続検討 S(C)	本品目については、統合品目「コンクリート用再生骨材H」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 供給地域及び使用範囲が限定されているため、今後特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。
ガラス用光触媒クリア塗料	光触媒セルフクリーニングクリア塗料	・オフィスビルなどの建築物の外装に使用されるガラスを対象とし、表面に光触媒膜を施す光触媒クリア塗料。光触媒セルフクリーニング効果により汚れの分解・浄化を繰り返し、ガラスの美しさを保つ事ができる。 ・酸化チタンを主原料とする薄膜をガラス表面にコーティングして形成される。 ・光触媒膜が施された面が屋外側になるように施工する。 ・廃棄時には通常ガラスと同様の扱いとなる。	光触媒性能の低いガラス用光触媒クリア塗料	継続検討 EQ (C)	本品目については、統合品目「ガラス用光触媒クリア塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・清掃回数減少によるCO2削減量および廃棄物削減量の見通しが不透明。 JIS・JAS等の公的基準に準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。
人工軽量土	BF-（ボストンファーム-）、リサイクルロード	廃棄物を原料としリサイクル製品とした人工軽量土壌 建設系産業廃棄物（ALC=ベール：軽量発砲コンクリート）、伐採樹木のチップ、動植物性残さ、及び地元菌とを混合し、発酵・熟成させた人工軽量土壌。特徴として、通常の土壌の比重を50%おさえられた土壌である事、雑草の生え難い土壌である事、栄養価の高い土壌である事、ほぼ全量が廃棄物が原料で作られている事である。	市販の軽量土壌（天然石等から製品化された商品）	継続検討 QS (C)	平成26年度は資料の提出をいただいておりますが、再検討した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 本品目については、統合品目「人工軽量土」に該当するものとして検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 品質確保について不確実性が残ると考えられる。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品目と同程度になる見込みを確認する必要があります。 なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

継続検討品目群（資材）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
再生セメントを用いたモルタル	ハイブリッドドライモルタル	ハイブリッドドライモルタルとは、コンクリートの補修施工あるいはブロックの接着、床材等に用いられるコンクリート用建材であって、従来のドライモルタルの構成材料である普通ポルトランドセメントに生コン工場で発生する戻りコンクリートから製造した再生セメント（製品名：サスティナブルセメント）を一部、代替材として配合した製品である。再生セメントは通常の普通ポルトランドセメントと比較しても50%程度の強度発現性を有していることから、従来品と同様所定量の水を加えて練り上げるだけで施工時の流動性が得られるとともに、施工後の強度にも従来のドライモルタルと遜色のない性能が得られるものである。	コンクリート構造物の簡易な施工、補修工事に用いられているドライモルタルのうち、構成材料であるセメント、砂の配合比（C/S=28.5/71.5）であるドライモルタル	継続検討 QS (C)	本品目については、統合品目「再生セメントを用いたモルタル」に該当するものとして検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 品質確保について不確実性が残ると考えられる。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生セメント	サスティナブルセメント	サスティナブルセメントとは、生コンクリート工場で発生した戻りコンクリートからセメントを水和が進行する前に脱水、破碎・乾燥し、製造した再生セメントである。この製品は、強度発現性が普通ポルトランドセメントと比べ50%程度であり、LCAのうえでCO2排出量を大幅に低減できる製品である。使用用途としては、地盤改良用として用いられるセメント系固化材の原料、ソイルセメント柱列連続壁の先行削孔のセメントミルク注入材、プレミックスモルタルの原材料として利用されている。	普通ポルトランドセメント	継続検討 QS (C)	本品目については、統合品目「再生セメント」に該当するものとして検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 品質確保について不確実性が残ると考えられる。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
副産物を用いたコンクリート	副産物を高含有したコンクリート	副産物を高含有したコンクリートとは、二酸化炭素排出量が多いセメントを、二酸化炭素排出量が少ない産業副産物（高炉スラグ微粉末など）で多量に置換して製造したコンクリートであり、セメントのみを使用して製造した普通コンクリートに比べ、二酸化炭素排出量を大幅に低減することができる。 上記副産物には、高炉スラグ微粉末以外に混和材料であるフライアッシュおよびシリカフェームを含める。副産物のセメント置換率を70%以上とした場合、普通コンクリートと比較し、二酸化炭素排出量の低減率は60%から80%となる。	普通ポルトランドセメントを用いたコンクリート	継続検討 QS(C)	本品目については、統合品目「副産物を用いたコンクリート」に該当するものとして検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため。 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、不確実性が残るため。 課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。